

# ARTS PRES

KANAGAWA



CREATOR'S VOICE 115 バレエダンサー

## 上野水香

ファンタステック・ガラコンサート2010  
「絢爛のオペラ&バレエ」公演に出演

神奈川芸術劇場(KAAT)2011年1月オープン!  
オープニングラインナップ発表!  
秋のアートに注目!

# 上野水香

Mizuka Ueno バレエダンサー(東京バレエ団)

## 世界で活躍するバレエダンサー

東京バレエ団プリンシパルとして

大活躍の上野水香。

今年6～7月に東京バレエ団は第24次海外公演を実施。11都市15回の公演を行った。このツアーで上野は、ハンブルクでの「ニジンスキー・ガラ」やミラノ・スカラ座での東京バレエ団海外公演通算700回となる公演に出演するなど得難い経験をした。年末には神奈川県民ホール恒例の「ファンタスティック・ガラコンサート」に三たび登場。バレエダンサーとしての充実した日々を語ってもらった。

—バレエ団にとって大きな記念となる海外公演通算700回の舞台に立った感想は？

700回という数にずっしりと重みを感じました。東京バレエ団は今年創立46年になりますが、その間に海外でこれほどの公演回数を重ねてきたというのは、本当にすごいことだと思います。700回目の演目選ばれた『ザ・カブキ』(振付：モーリス・ベジャール、音楽：黛敏郎)は、ベジャールさんが東京バレエ団に遺してくださった大切な作品です。そんな公演で顔世御前を踊らせていただくことに大きな責任を感じました。また、スカラ座のような素晴らしい劇場で踊ることができたり、いろいろな方と仕事ができたり、得難い経験をたくさんさせていただいている幸せを改めて実感しました。

—今回の海外ツアーで印象深かったことは何でしょう？

どの会場もそれぞれ印象が違えます。イタリアのチヴィタノーバの劇場は傾斜舞台で、傾斜が5%\*あり、回転をする時など感覚が随分違います。ミラノ・スカラ座も3%の斜舞台なんですけど、先にチヴィタノーバでやっていたおかげで、スカラ座は楽に感じられましたね。

野外の会場もたくさんありました。仮設の楽屋から舞台まで外を歩かなくてはならないこともあったんです。外を歩く時は普通の靴、ステージに上がったならスリッパを履き、踊る時はトゥシューズ、という具合に履き替えていました。結構ストレスになるんですよ(笑)。

また、昼のリハーサルは日差しが強いので日焼け止めと帽子が絶対に必要、夜は肌寒く、照明に集まってくる虫除けのスプレーが欠かせない、という具合に、野外ならではのケアをしなければなりません。でも照明を浴びて踊っていると、舞台は幻想的で独特な雰囲気



を持つ素敵な空間になっていきます。外の空気を感じながら踊るのは実に気持ちがいいんです。そんな舞台をお客様に喜んでいただける瞬間、ここに立つことができると本当に良かったと思えました。

後半はスケジュールが詰まっていて、バスで5時間移動して、到着後数時間でレッスンとリハーサル、次の日に本番、ということもあったのですが、無事乗り切ることができました。みんなそんなスケジュールでも、わりと淡々とすごしているものなんです。バレエに対する強い思いや情熱があるからこそ、そんな過酷な旅も楽しめるのだと思います。もしバレエ抜きでこのスケジュールだったら、耐えられないでしょうね。

—ハンプルクでは、世界中が注目している「ニジンスキー・ガラ」\*2にも出演されましたね。

ガラ公演では木村和夫さんと「バクチⅢ」を踊りました。4～5時間かかる長い公演でしたが、芸術監督のノイマイヤーさんはずっと袖で見てらして、1作品ごとに幕の前に出て、作品解説をするんです。けっこう冗談も話しているようで、お客様の笑い声も聞こえ、くつろいだ雰囲気でした。

私たち(の出番)は最後から3番目でしたので、待ち時間が長かったです。同じ楽屋の人はどんどん踊ってしまい、ほっとした顔で電話をかけたたりして、いつ身体をあたためようかとか、落ち着かなくてそわそわしていました。

名だたるダンサーがたくさん出演していて、緊張しなかったと言ったら嘘になります。でも、私はなによりも舞台が好きですし、踊ることが好きなんです。他の誰でもない自分が今から踊る、そしてハンプルクのお客様にそれを観ていただける。そういう場が自分に与えられていることに感謝して舞台へ出ていきました。

ノイマイヤーさんは偉大なのに謙虚で穏やか、そして非常に聡明な方です。ご自宅に招待していただき、自ら私たちをもてなしてくださったのですが、生活感が全く

なく、お好きな絵やニジンスキーのコレクションが飾ってあって美術館のようなお宅でした。

—12月29日には「ファンタスティック・ガラコンサート2010“絢爛のオペラ&バレエ”」で神奈川県民ホールの舞台に立たれます。今回で3度目になりますね。

はい。今回はロシアとフランスというテーマから、「眠れる森の美女」を選んだのですが、このパ・ド・ドゥは私の大好きな演目のひとつなんです。

そして今回もパートナーは高岸直樹さんです。高岸さんとはもう6年間くらい踊っているので気心が知れていますし、私の動きをしっかりと把握してくれています。とても安心できるパートナーです。

このコンサートは、いつもの公演と違ってオーケストラがオーケストラピットではなく舞台上の、私たちが踊る後方にいるのですが、その特殊な配置にもすっかり慣れました。最初は不思議に感じたものの、今は「頑張れ!頑張れ!」と後ろからエールを送ってもらっているようで気分も乗ってきます。ただ、毎年踊り終わってすぐ、息が切れている状態でインタビューを受けるので、いつもうまく話せなくて。今年は上手く話したいと思っているのですが、どうなるでしょう…。

出演される方がみんな、この公演に出ることをとても楽しみにされているんです。そういう気持ちがお客様にも伝わるのではないのでしょうか。きっと今年も素晴らしい舞台になると思いますし、私もこの公演がずっと続いて、毎年出演できたらいいなと思っています。

(取材・文 結城美穂子/写真 大野純一)

\*1 パーセントは水平に100m進んだとき、何m上るかの角度をあらわしたものだ。

\*2 振付家ジョン・ノイマイヤー率いるハンプルク・バレエ団は、シーズン最後の一週を「バレエ週間」として海外のカンパニーを招聘したり、ノイマイヤーの代表作を上演する。その最終日に行われるのが「ニジンスキー・ガラ」で、世界中の一流ダンサーをゲストに迎え行われる。バレエ・ファンには憧れの公演。



上野水香 (バレエダンサー)

Mizuka Ueno

東京バレエ団プリンシパル。神奈川県出身。

5歳よりバレエを始める。15歳でローザンヌ国際バレエコンクールにてスカラシップ賞を受賞した後、モナコに2年間留学。美しいラインと独特の存在感で、注目を集めている。

2004年春、東京バレエ団に入団。『白鳥の湖』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『ジゼル』『ラ・バヤデー』『ラ・シルフィード』『ドン・キホーテ』『ボレロ』『真夏の夜の夢』『バクチⅢ』『M』『ザ・カブキ』『バレエ・インペリアル』など、ベジャール振付作品も含め多数のレパートリーを持つ。近年はベルリン・ドイツ・オペラ他、海外出演の機会も増えている。第11、12回世界バレエフェスティバルに出演。

主な受賞に、神奈川文化賞未来賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞がある。

2007年5月かながわ観光親善大使に就任。

## 上野水香氏 公演情報 (日本)

東京バレエ団「ジゼル」

10月3日(日)15:00 越谷コミュニティセンター(埼玉)  
☎ 048-985-1112(サンシティホール)

東京バレエ団「M」

12月19日(日)開演時間未定 東京文化会館  
☎ 03-3791-8888(NBSチケットセンター)

神奈川県民ホール 年末年越しスペシャル  
ファンタスティック・ガラコンサート2010  
「絢爛のオペラ&バレエ」

12月29日(水)15:00 神奈川県民ホール

☎ 045-662-8866(チケットかながわ)

指揮:松尾葉子 司会・バリトン:宮本益光

出演:上野水香(東京バレエ団)、高岸直樹(東京バレエ団)、

足立さつき(ソプラノ)、菅有実子(メゾソプラノ)、

樋口達哉(テノール)、北村朋幹(ピアノ)

管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

バレエ/チャイコフスキー

「眠れる森の美女」より～グラン・パ・ド・ドゥ ほか

COLUMN  
今月の小コラム

## 上野水香さんにQ&A

—神奈川県民ホールの思い出は?

県民ホールは特別な場所でした。小さい頃から馴染みのある場所です。幼い頃は東京ではなく、県民ホールにバレエを見に連れて行ってもらっていました。その舞台に自分が立てるので、すから幸せだと思います。

—鎌倉に今もお住まいですね。

ずっと住んでいるので特別意識したことはないですが、駅を降りると空気が東京とは違って、ゆったりとしていると思います。

いつも鎌倉から電車で通っています。公演の帰

りなど体力的にきついなと思うこともありますが、鎌倉が一番好きなので、東京で暮らしてみようと思ったことはありません。遠いことも苦にはならないんです。

—鎌倉スイーツでお気に入りがありますか?

あの「鳩サブレ」で有名な豊島屋さんの「きざはし」が好きです。餅粉ぎゅうひと、きな粉のお菓子で、とっても美味しいんですよ。

# オープニングラインナップ発表!

「<sup>いま</sup>現在」を斬る個性豊かな演目が  
神奈川芸術劇場〈KAAT〉の開幕を華やかに彩る



オープニングラインナップ発表に集った宮本亜門芸術監督、クリエイティブパートナー、アートディレクター、演出家の面々  
後列左より 首藤康之、宮本亜門、長塚圭史、岡田利規  
前列左より 岩城京子、佐藤卓、杉本博司、三浦基

劇場を、ただお芝居を観るためだけの装置にしたい。上演される演目を通して「今生きるとは何か」ということをお客さんと共に考える場にしたい。そんな所信表明を4月に神奈川県民ホールで語った芸術監督・宮本亜門。7月28日には都内にて、この宮本の芸術監督としてのポリシーと、そのもとに選ばれたオープニングラインナップ、彼と連携して劇場を支えるクリエイティブパートナー、さらには撥刺としたオレンジ色が印象的な劇場のロゴ発表が行われた。

午後1時——盛夏の渋谷に設けられた記者発表会場には120人に及ぶ記者が集まり、宮本亜門芸術監督を拍手で迎えた。登壇した宮本は、芸術監督としての抱負を予想外の言葉から語りはじめた。

「芸術監督はもっともやりたくなかった仕事です。なぜならその難しさを知っていたし、私に本当に務まるのかわかも不安だったからです。けれど私のなかには『舞台をもっと多くの人に見て欲しい』という気持ちが常に。だからこれをきっかけに、少しでも人々の生活のなかに劇場が入っていったらと思い、オファーを引き受けることにしました。芸術監督の任期は4年。自分の考えていることをなるべく実現していきたいです」

そんな宮本がまず着手したのは、劇場のロゴ制作。神奈川芸術劇場と漢字が7文字並ぶのは少し堅い。ニューヨークのメトロポリタン・オペラハウスがその頭文字から「MET(メット)」と親しまれているように、この劇場にも呼び名を与えたい。そこで彼は「ロッテ キシリトールガム」や「おいしい牛乳」の商品デザインなどで知られる、アートディレクターの佐藤卓氏に仕事を依頼。佐藤は新鮮でソリッドな「KAAT」というオレンジ色のロゴを誕生させた。

「単純で明解で子どもでもわかる。そんなシンボルにしたかった」と記者会見で、佐藤はそのコンセプトを明かした。

続いて宮本芸術監督はクリエイティブパートナーの3人、ダンサーの首藤康之、劇作家の岡田利規、ジャーナリストの岩城京子を紹介。「自分ひとりの発想ではなく、この3人と話し合いを重ねて劇場の方向性を考えていく」つもりだと宮本は語る。3人のクリエイティブパートナーは、以下のように抱負を語った。

## 宮本亜門演出「太平洋序曲」出演者募集!

神奈川芸術劇場〈KAAT〉では2011年のオープニングラインナップとして上演いたします「太平洋序曲」にて、女優を志している16歳～25歳の女性出演者を1名、演劇経験は不問で広く一般公募します。本作品は日本開国の地＝神奈川を舞台に幕末から開国に至る日本人の葛藤と受容を描いた巨匠S・ソンドハイム作詞・作曲のミュージカルで、宮本亜門が演出家として東洋人初のブロードウェイ進出を果たし、トニー賞4部門にもノミネートされた作品です。オーディション合格者には少女＝武士の娘(他複数の役を兼任)を演じていただきます。このKAATで生まれる新しい「太平洋序曲」を一緒に作っていただける方、ぜひ奮ってチャレンジしてください。

### ■応募方法■

下記のURLから、応募資格、スケジュール、応募方法・宛先等を必ずご確認ください。  
<http://www.kaat.jp/>の「ニュース&トピックス」から「太平洋序曲」出演者募集中!をご覧ください。  
応募書類の締切は郵送にて、10/5(火)必着。  
お問い合わせ:神奈川芸術劇場 ☎045-633-6500(平日10:00～18:00)

## 神奈川芸術劇場<KAAT>オープニングラインナップ

### 日本文学シリーズ (2011年)

#### 宮本亜門 演出

／三島由紀夫 原作／「金閣寺」(2011年1月)

#### 長塚圭史 演出

／三好十郎 原作／「浮標(ぶい)」【提携】(2011年1月)

#### 三浦基 演出

／芥川龍之介 原作／劇団「地点」  
／「Kappa」或小説(2011年3月)

#### 春風亭小朝

春風亭小朝独演会(仮称)(2011年3月)

#### 平常

脚本・演出・美術・作曲・人形操演  
／水上勉 原作／「はなれ替女(ごせ)おりん」(2011年3月)

#### 杉本博司

構成・演出・美術・映像  
／近松門左衛門 作／作曲・演出 鶴澤清治  
／「杉本文楽 木偶坊 人情(でくのぼう)いりなさけ」  
／會根崎心中付(つけたり)観音廻り(2011年3月)  
／太夫 豊竹嶋太夫／三味線 鶴澤清治／人形 吉田簗助

#### 岡田利規 作・演出

／チェルフィッチュ  
／「ソウガメのソニックライフ」(仮称)(2011年2月)

#### 三谷幸喜 作・演出

／「国民の映画」(2011年4月)

#### 前川知大 作・演出

／イクウメ公演(2011年4月)

#### S・ソンドハイム 作

／演出 宮本亜門／「太平洋序曲」(2011年6月)、  
「スウィニー・トッド」(2011年7月)

#### いのうえひでのり 演出

／「ロッキーホラーショー」【提携】(2011年12月)

### 舞台芸術ミーティング in 横浜

(2011年2月) ※同時開催「ETMサテライトミーティング in 横浜」

東京芸術見本市が東京を離れ、国際都市ヨコハマで開催!

### 県民と劇場をつくるシーズン

ゴールデンウィークからおよそ1ヶ月は、劇場に親しんでもらうシーズンです。

オープンシアター(4月)、神奈川県演劇連盟合同公演(5月)、日本舞踊協会神奈川県支部公演【提携】(5月)、神奈川県芸術舞踊協会公演【提携】(5月)が予定されています。

**首藤** | 「僕は今まで多くの振付家やダンサーと身体表現を追求してきました。そして、日本はもちろん、世界には非常に魅力的な才能が大勢いることを知りました。この新しい劇場で、それらをひとつひとつ丁寧に紹介する機会を作れたらと思います」

**岡田** | 「横浜で生まれて育ち、神奈川は地元意識が強い。僕が思ういい劇場とは、ただ面白い演目が並んでいて、お客さんが来ればいいということではなく、地域の観客との関係性をうまく築いていけるということ。何かそういうことができれば」

**岩城** | 「ジャーナリストとして、作り手側ではなく見る側の視点を生かして、劇場に貢献していければと思います。作品単体のよしあしを語るのではなく、いまこの作品を上演することで、社会で働く人たちにどう響くのか。そんなことを考えていきたい」

なお、来年1月のこけら落としでは三島由紀夫の『金閣寺』(宮本亜門演出)を上演。KAATでは本作を皮切りに「日本文学シリーズ」と題し、3年がかりで日本文学と向きあっていく予定だ。そのなかから記者会見当日は3演目を紹介。それぞれの演出家たち、長塚圭史、三浦基、杉本博司が登壇した。

**長塚** | 「僕は三好十郎の『浮標』という作品を手がけます。今の時代、すべてのことがバーチャルに済まされ、なにか現実なのかを見失われてしまいがちですが、そんな今だからこそ“凄まじく生きる”というパワーを描く本作を上演したいと思います」

**三浦** | 「芥川龍之介のコラージュ作品を手がけます。芥川の晩年の作品は、現代に通ずるテーマ性があります。芥川が言うように『ただぼんやりとした不安』で人は死ぬのか。作家がどう時代に追い込まれていったのか、それをドラマにしたい」

**杉本** | 「ふだんは現代美術をやっていますが、今回は文楽の構成・演出・美術・映像を手がけます。書き割りで見せる既存の文楽的な演出ではなく、オペラ的な空間を考えています。古典の復曲こそがいちばん現代的である、という方向性を目指したい」

3人の演出家から共通して聞こえてくるのは「現代」「時代」「今」といった言葉。宮本が所信表明で語った「今生きるとは何か」という問いに対する彼らなりの返答が、作品から見えてきそう。新しい劇場に足を運ぶ観客の心のなかでも、生きることに對しての自問自答が、そこからのおのずとはじまっていきそう。

### かながわメンバーズ (KAme) 会員募集! 年会費無料!

「金閣寺」「杉本文楽」「チェルフィッチュ」を始め、神奈川芸術劇場<KAAT>のオープニングラインナップのチケットの先行予約が利用できる「かながわメンバーズ(KAme)」。神奈川県民ホール、県立音楽堂のチケットの特典(財団主催公演を中心に)も受けられてとってもお得。しかも年会費は無料!

いまから登録して、情報満載のメルマガで公演情報をいち早く先取りしよう!

#### 【特典】

- ホームページからチケットの先行予約がご利用できます。(パソコン・ケータイが対応。特典は財団主催公演を中心に多数。詳しくはメルマガでお知らせ)
  - パソコン・ケータイにメルマガ配信。最新チケット発売情報や公演情報などを配信します。
  - 24時間、ご予約が可能です。(一部公演を除く)
  - チケットは、お近くのセブンイレブンで24時間いつでも引換可能。(一部公演を除く)
- (「神奈川県民ホール」「神奈川県立音楽堂」「神奈川芸術劇場<KAAT>」の共通の友の会です。(公益財団法人神奈川芸術文化財団が運営))

かながわメンバーズ(KAme)登録は<KAAT>ホームページから <http://kaat.jp/>



## 神奈川芸術劇場<KAAT>からのお知らせ

8月5日、神奈川芸術劇場・NHK横浜放送会館合同施設の竣工式が行われました。

ついに劇場の建物が出来上がりました!

式典では、まず建物1階のアトリウムで、松沢成文県知事や福地茂雄NHK会長などがご挨拶。また、宮本亜門芸術監督が、この建物を人と人が心を通わせる場所にしていきたい、と熱い想いを語りました。来年1月のオープンまで、これから様々な開場準備を重ねていきます。ご期待ください!



中華街から中国獅子舞の応援もやってきました

劇場のフロアガイドなど、施設案内はホームページで! <http://www.kaat.jp/>

# 秋のアートに注目!

開放的な夏に別れを告げ、  
芸術がより身近になる秋へ。  
自然に囲まれながらの環境は  
色や香りも感性に働きかけ、  
アート鑑賞にも最適です。  
知の欲求が高まるいま  
アンテナを磨き上げ、  
芸術の果実を収穫しましょう。



写真提供:三溪園



あの有名イラストレーターが  
シャンソンの名曲を訳していた

人生と秋をテーマにしたシャンソンの代表曲「枯葉」(英訳題「Autumn Leaves」)は、ジャズのスタンダード・ナンバーとしても有名。日本では岩谷時子の訳詞版を越路吹雪らが歌い、多くの人を魅了した。しかしそれ以前に訳詞を作っていたのが、雑誌『ひまわり』などで有名な中原淳一。自らもピアノを弾いて歌ったという彼が和訳した歌は、100曲以上になるという。日本でのシャンソン普及に尽力した功労者だったのだ。



官能的な美女が祝う豊穡の季節、  
ミュシャの美麗アートは秋を彩る

今年が生誕150年となるアルフォンス・ミュシャの作品には、豊穡の季節を讃美する美女をモチーフにした「秋」という装画が、少なくとも3種類ある。4枚セットの連作『四季』の一部であり、ブドウを愛でている1896年の作、あふれんばかりの果実を手にする1897年の作、収穫した果実を手を微笑む1900年の作、それぞれが個々の魅力を放つ。この秋は複製ポスターを部屋に飾り、美女と共に実りの季節を祝うのも一興だ。



庶民の生活と家族愛を描き、  
世界的に評価された小津映画の粋

ちょうど50年前の晩秋、1960年11月。小津安二郎監督の映画『秋日和』が公開された。長年にわたって娘役を演じてきた原節子が母親役となって娘を嫁に送り出す物語であり、家族愛を描いた小津作品の真骨頂。昭和の風景や女優の美しさなどが、若い世代には新鮮に見えるだろう。物思いに耽る秋だからこそ、心にしみる名画だ。小津監督は北鎌倉駅前にある円覚寺に眠っており、墓石には「無」の一字が彫られている。

(オヤマダアツシ)

## >PICK UP

### 三溪園

#### 菊花展

10月26日(火)~11月23日(火・祝)

#### 紅葉の古建築公開

11月27日(土)~12月12日(日)

横浜市中区本牧の広大な庭園内に、創設者、原三溪が移築した仏堂建築をまとめて公開。建物の周辺にはモミジやイチョウが色づき、風情ある散策も楽しめる。  
開園:9:00~17:00(入園は16:30まで)  
入園料:大人500円/シニア300円/小学生200円

お問合せ: ☎045-621-0634

### 生田緑地

多摩丘陵にある川崎市一の緑の宝庫。緑地のなかに「岡本太郎美術館」「日本民家園」「青少年科学館」などがあり、季節ごとの自然を楽しみながらアート散策ができる。秋はメタセコイアの紅葉が見物。

お問合せ: ☎044-933-2300

(上記施設については、それぞれにお問い合わせください)

### 神奈川県立近代美術館 葉山

新しい神話のはじまる。

#### 古賀春江の全貌

9月18日(土)~11月23日(火・祝)

葉山の「海」と「山」と調和するように建築された美術館。この秋は大正後期から昭和初期にかけて活躍した洋画家、古賀春江の絵画や詩を紹介する展覧会が楽しめる。

開館:9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館:月曜(祝日は開館)、祝日の翌日など  
入館料(古賀春江の全貌):

一般1,100円、20歳未満・学生950円、  
65歳以上550円、高校生100円

お問合せ: ☎046-875-2800

## 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 演奏会案内

### 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 第266回定期演奏会

2010年10月9日(土) 開演14:00(開場13:20)

横浜みなとみらいホール 大ホール

指揮:キンポー・イシイ=エトウ ハープ:篠崎 和子

コープランド/エル・サロン・メヒコ ヒナステラ/ハープ協奏曲作品25

ドヴォルザーク/交響曲第9番ホ短調作品95「新世界から」

全席指定 S6,000円 A4,500円 B3,000円 学生(B)1,000円(税込み)

シニア(70歳以上)は各席種2割引にてお申し込みいただけます。

\*未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

お問合せ:神奈川フィル・チケットサービス ☎045-226-5107(平日10:00~18:00)

<http://www.kanaphil.com>

## 神奈川近代文学館 企画案内

ラファディオ・ハーン

### 小泉八雲展

生誕160年、来日120年を記念して、永住の地・日本における14年あまりの日々を中心に、草稿、初版本、遺愛品、写真など約400点によって54年の生涯と作品を神奈川とのゆかりとともに紹介します。

10月2日(土)~11月14日(日) ※休館日は祝日を除く毎月曜日

大人600円

20歳未満及び学生300円(高校生以下、65歳以上は無料)

9:30~17:00(入館は16:30まで)

神奈川近代文学館 第2、3展示室

〒231-0862 神奈川県横浜市中区山手町110 ☎045-622-6666

<http://www.kanabun.or.jp>

ファイナル!

# 井上道義の上り坂コンサート

全10回のシリーズとして、2001年から始まった「上り坂コンサート」。

公演名は、<上り坂にある若き演奏家>と音楽堂へ続く<紅葉坂>をかけて、井上道義氏自身が名づけたものです。

「音楽堂で若きソリストの演奏を聴いてみよう、というあたたかなお客様の前で演奏できることは、ソリストたちにとっても得がたい機会だから」と、マエストロ井上自らが毎回様々なアイディアを繰り出し、この公演を盛り上げてきました。

例えばVol.6では、ミニ・オペラの演出・美術・進行の3役を担当、Vol.8ではバレエダンサーとの共演も果たしました。

自分が上り坂だった頃のことをとても良く覚えているから、そして今でもその頃の気持ちのままだからこそ、孫ほど年の差のあるソリストたちとも友人のように接し、彼らの伸びやかな演奏を引き出してきたマエストロ井上。

名残惜しい中、最終ステージの幕が上がります。どうぞお見逃しなく!!



井上道義

## これまで「上り坂」コンサートを彩ったソリストたち

- Vol.1 イングリット・フリッター (ピアノ)
- Vol.2 神尾真由子 (ヴァイオリン※1)
- Vol.3 菊池洋子 (ピアノ)
- Vol.4 枝並千花、梁美沙、田代裕貴、内山優子、ダニエル・ギャリツキー (ヴァイオリン)
- Vol.5 田村響 (ピアノ※2)
- Vol.6 室井摩耶子 (ピアノ)、小林沙羅 (ソプラノ)、竹内俊介 (テノール)
- Vol.7 菊本和昭 (トランペット)、矢野沙織 (アルトサククス)、石田泰尚 (ヴァイオリン)、三浦一馬 (バンドネオン※3)
- Vol.8 郷古 廉 (ヴァイオリン)
- Vol.9 徳永雄紀 (ピアノ)

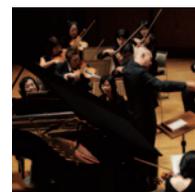
(※1) 上り坂出演の5年後にチャイコフスキー国際コンクールで優勝。

(※2) 上り坂出演の2年後にロン＝ティボー国際コンクールピアノ部門優勝。

(※3) 上り坂出演の翌年国際ピアソラコンクールで日本人初、史上最年少で準優勝。



2001年 Vol.1  
 イングリット・フリッター (ピアノ)



2006年 Vol.6  
 室井摩耶子 (ピアノ)



2006年 Vol.6  
 モーツァルトオペラ  
 「バステアンとバステイエンヌ」



2007年 Vol.7  
 三浦一馬 (バンドネオン)



2007年 Vol.7  
 石田泰尚 (ヴァイオリン)



2007年 Vol.7  
 矢野沙織 (アルトサククス)



2008年 Vol.8  
 郷古 廉 (ヴァイオリン)



2009年 Vol.9  
 徳永雄紀 (ピアノ)

©青柳聡

今までのシリーズに登場したソリストが、2日間にわたって、木のホールに集結!

上り坂ファンの方も、上り坂未体験の方も、踊る指揮者の名タクトとフレッシュな若手演奏家のコラボレーションをお見逃しなく!

Vol.7公演で、ジャンルを超えて競演した出演者による豪華セッション!

10月15日(金)前夜祭 19:00開演

井上道義(進行)

石田泰尚(ヴァイオリン)、黒木岩寿(コントラバス)

三浦一馬(バンドネオン)、矢野沙織(アルトサククス)

料金:全席指定1,500円

Vol.1出演のイングリット・フリッター、Vol.8出演の郷古廉を迎えて華麗なフィナーレ!

10月16日(土)本公演 14:00開演

井上道義(指揮)、イングリット・フリッター(ピアノ)、郷古 廉(ヴァイオリン)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

曲目:モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番、ヴァイオリン協奏曲第3番、交響曲第39番

料金:全席指定 一般4,000円 学生(24歳以下)・シルバー(65歳以上)3,500円



石田泰尚



黒木岩寿



三浦一馬



矢野沙織



イングリット・フリッター



郷古 廉

主催: 神奈川県立音楽堂 (指定管理者:公益財団法人 神奈川芸術文化財団) 託児サービス(要予約):チャイルドサービス遊 045-774-2711(月~土 9時~18時)

チケットの  
お求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)  
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>

チケットかながわ 045-662-8866

(電話10:00~18:00/県民ホール窓口10:00~18:00/音楽堂窓口13:00~17:00月休)

# WHAT'S ON? 03

## 横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ

### 横浜美術館



**ドガ展** 9月18日(土)~12月31日(金)

フランス印象派の画家エドガー・ドガの21年ぶりとなる回顧展。名作《エトワール》をはじめ、約120点の作品が展覧される。

開館時間: 10:00~18:00(金曜は20:00まで。入館は閉館の30分前まで)

料金 一般1,500円 大学・高校生1,200円 中学生600円 小学生以下無料

休館: 木曜(9/23, 12/23, 12/30を除く) お問合せ: ☎03-5777-8600(ハローダイヤル)

エドガー・ドガ《エトワール》(1876-77年) パステル、モノタイプ、紙 オルセー美術館蔵 ©RMN (Musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by DNPartcom

### 横浜開港資料館



**横浜山手 コスモポリタンの1世紀** 7月28日(水)~10月24日(日)

ときめきのイセザキ140年—盛り場からみる横浜庶民文化 10月27日(水)~2011年1月30日(日)

山手の外国人居留地と140年の歴史をもつ伊勢佐木町のあゆみ。二つの展覧会で、横浜の魅力をたっぷりと。

開館時間: 9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館: 月曜、年末年始ほか

入館料: 大人200円、小中学生100円 \*毎週土曜は高校生以下無料 お問合せ: ☎045-201-2100

「横浜山手 コスモポリタンの1世紀」展より 叔母のドロシーと2歳になる前のドロシー・プリトン 1923年撮影 レディー・パウチャー(ドロシー・プリトン氏)蔵

### 象の鼻テラス



photo:Katsuhiko Ichikawa ©株式会社ワコールアートセンター

**ETB(エレファント・トラベル・ビューロー)** 9月10日(金)~11月3日(水・祝)

象の鼻テラスを架空の旅行代理店「ETB(エレファント・トラベル・ビューロー)」にみたく、

横浜からの情報発信を行う。ほか企画も同時開催。テラス内のカフェでは、地元横浜産の野菜を使った

フードや、バラエティあふれるドリンクを楽しむ。

開館時間: 10:00~18:00(イベントによって変動あり) テラスは入場無料 会期中無休

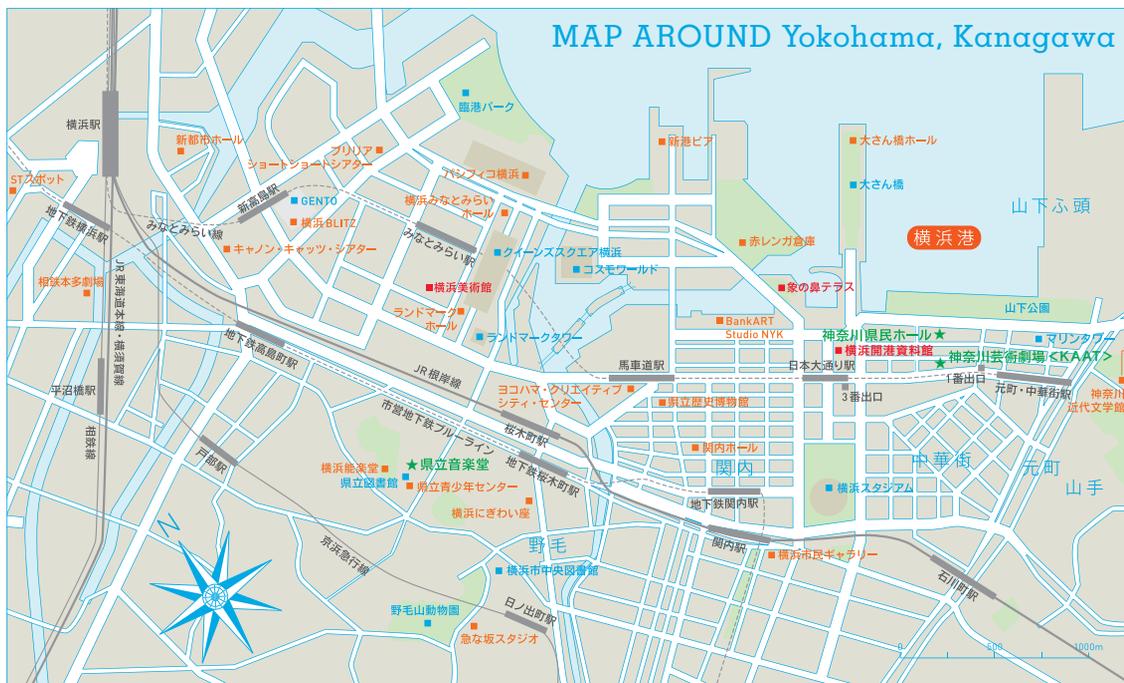
お問合せ: ☎045-661-0602(テラス)、☎045-680-5677(カフェ)

象の鼻テラスのシンボル、椿昇制作の「時をかける象(ペリー)」

気分選ぶ ART GUIDE アートガイド

四季×アート  
21年ぶり  
気鋭の35歳  
来日120年記念  
10年目、ファイナル!

小泉八雲展 P6  
ドガ展 P8  
生田緑地 P6  
泉太郎展 P3  
井上道義の上り坂コンサート P7



### 森さんぽ 3

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜散歩

### 横浜港の夕景

港町らしいロマンにあふれた夕景。

背後に山下公園、マリンタワーを臨む。

10月に大さん橋に寄港予定の「アムステルダム」を

はじめとする、海外の大型客船を眺めるのも楽しい。

お問い合わせ: 大さん橋プロジェクト ☎045-211-2304



県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info> 「かな@」で県内のアート情報を検索できます。

**TOSHIBA**  
Leading Innovation >>>



CELLレグザ 55X2



ブルーレイディスクレコーダー RD-X10

新生レグザ、ここに結実。

**REGZA**

ecoスタイル 東芝グループは、持続可能な地球の未来に貢献します。